

## 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会による、頭頸部疾患に関する認識調査結果

### 調査概要

調査日：2021年6月23日

調査パネル：株式会社メディカルノートのメールマガジン会員

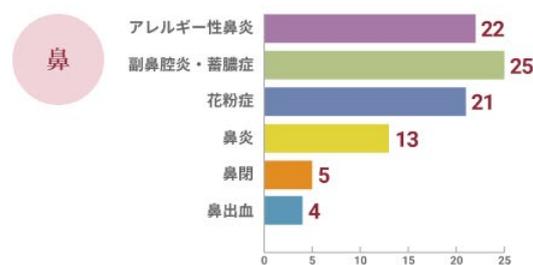
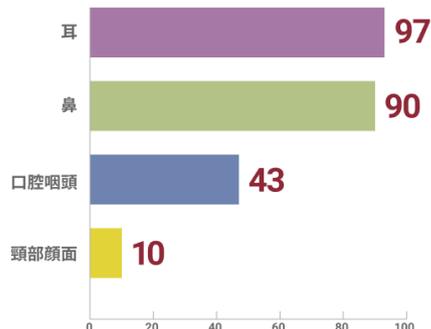
回収方法：インターネット調査

回答条件：18歳以上、非医療従事者

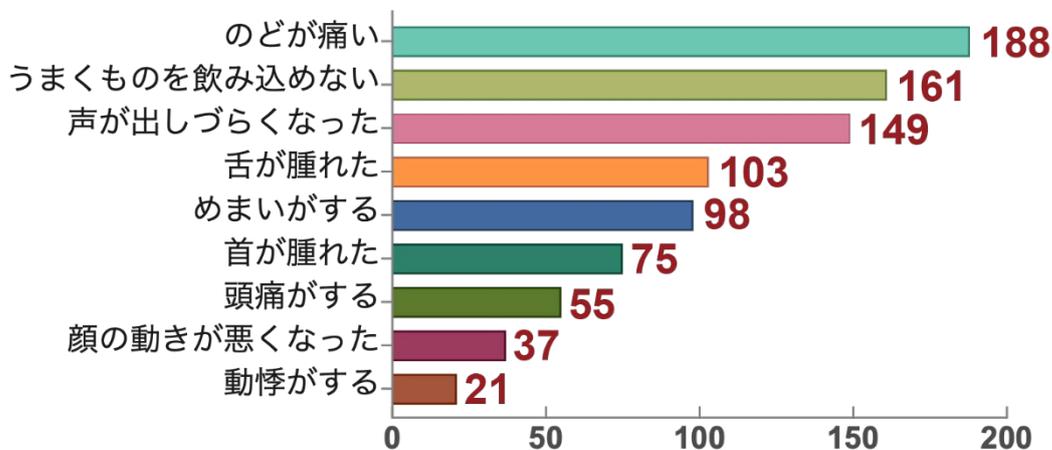
取得した有効回答数：200

### Q. 耳鼻咽喉科・耳鼻科を受診したことがある人は、どんな症状や病気で受診をしましたか？（自由記述）

耳鼻咽喉科・耳鼻科を受診したことがある人が、どんな症状や病気で受診したか自由記載で回答してもあったところ、耳・鼻の病気が非常に多かった一方で、口腔咽頭は約半数、頸部顔面の病気では10%の人しか受診したことがないことがわかった。

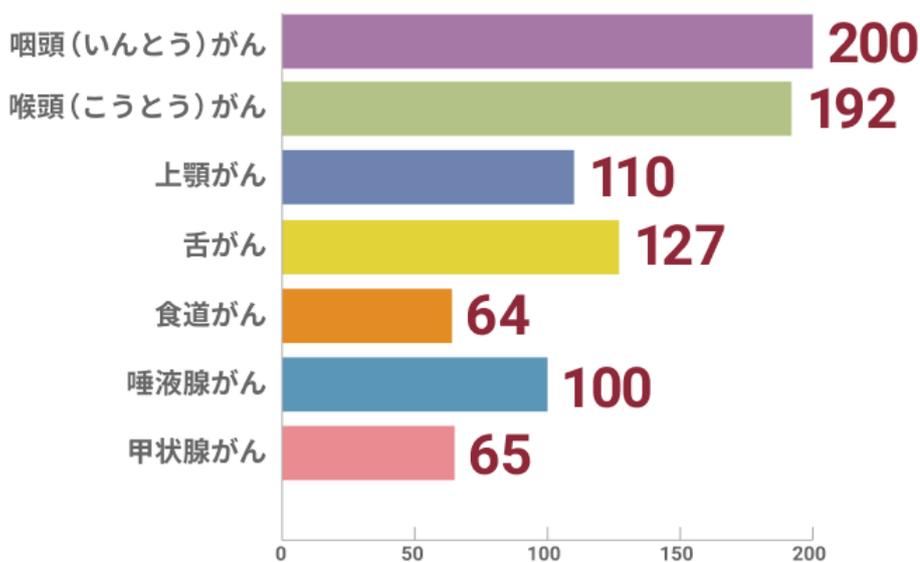


Q. 下記のうち、耳鼻咽喉科で治療ができると思われる「症状」をすべて選んでください。

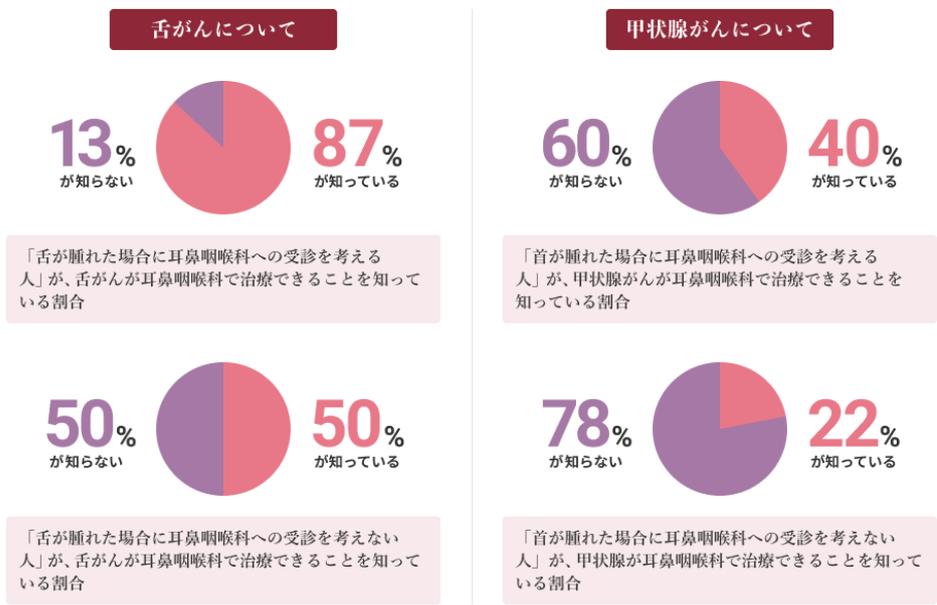


耳鼻咽喉科が治療可能な症状を並べ、「耳鼻咽喉科で治療ができると思われる症状をすべて選んでください」と質問したところ、耳鼻咽喉科が得意とする「顔の動きが悪くなった」でも18.5%の認知に留まった。また、「めまいがする」は49.0%の人しか、「首が腫れた」は37.5%、「舌が腫れた」は51.5%の人しか耳鼻咽喉科で治療できることを知らないことがわかった。

Q. 下記のうち、耳鼻咽喉科で検査・治療ができると思われる「がん」をすべて選んでください。

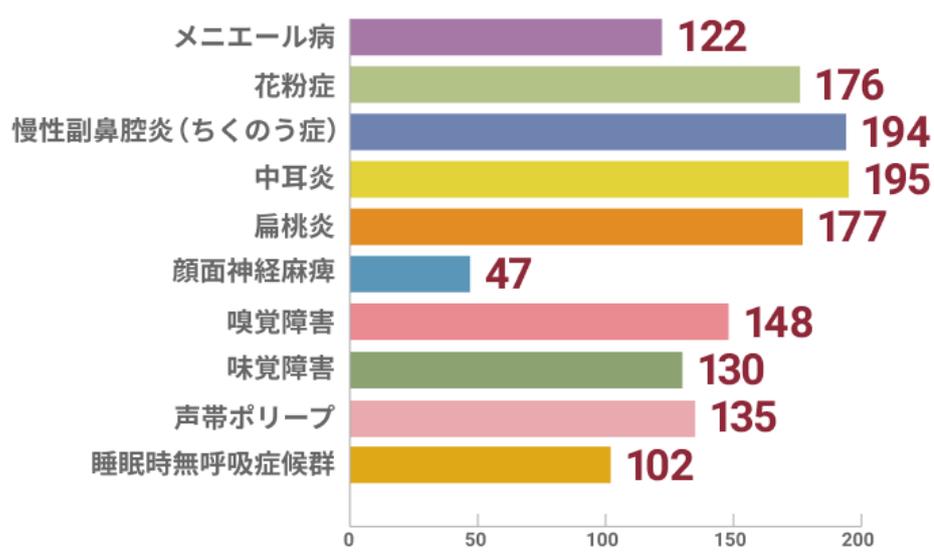


耳鼻咽喉科が治療可能ながんを並べ、「耳鼻咽喉科で検査・治療ができると思われる“がん”をすべて選んでください」と質問したところ、耳鼻咽喉科が得意とする舌がんでも64.0%の認知に留まった。また、甲状腺がんは32.5%の人しか、耳鼻咽喉科で治療できることを知らないことがわかった。



また、耳鼻咽喉科で治療できると思われる症状について質問した結果をみると、舌が腫れたときに耳鼻咽喉科への受診を考えない人の方が、舌がんの治療ができることを知らない傾向にあることがわかった。同様に、首が腫れたときに耳鼻咽喉科への受診を考えない人の方が、甲状腺がんの治療ができることを知らない傾向にあった。

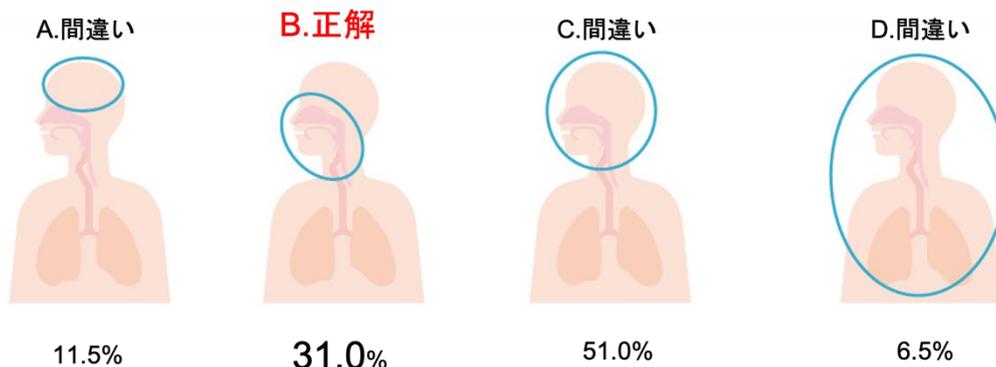
Q. 下記のうち、耳鼻咽喉科で治療ができると思われる「病気」をすべて選んでください



耳鼻咽喉科・頭頸部外科が専門とする各種の病気についても同様に尋ねたところ、花粉症、慢性副鼻腔（びくう）炎（蓄膿＜ちくのう＞症）、中耳炎、扁

桃（へんとう）炎、嗅覚障害、味覚障害についての理解度が高かった一方、メニエール病（61.0%）▽顔面神経まひ（23.5%）▽睡眠時無呼吸症候群（51.0%）などは比較的低かった。

Q. 下の画像を見て、頭頸部の範囲を正しく示している画像だと思うものを選んでください。



頭頸部の位置を示す画像として、3枚のダミー画像を加えた4枚の画像を回答者に提示したところ、正しい位置を示した画像を選んだ人は31%だった。多くの人が“頭頸部”が指す体の部位を曖昧にしか把握していないことがわかった。

頭頸部は味覚と嗅覚といった生活の質（QOL）維持に大切な感覚器、脳につながる血管や神経、リンパ節などが狭いエリアに集中し、機能を維持しながらがんなどの病気を治療するには高い専門性が要求される。

調査の結果から、耳鼻咽喉科で治療できることが知られていないがんや病気が明らかになった。頭頸部の位置などを正しく把握出来ていない人も多いことから、耳鼻咽喉科の啓発においては、専門とする体の部位などを周知する施策が必要であると考えられた。